

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-30-7
TEL.03(3404)7661
E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

「住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい」
患者さんの「思い」を大切に組みたい



訪問診療部のスタッフ（医師、看護師、ケアマネジャー、事務、運転手。責任者の宮本尚樹医師は後列中央）、鈴木海師長は後列左から2人目

訪問診療では、通院が困難になった患者さんのために、医師が定期的に診療にお伺いし、計画的に健康管理を行います。ケアマネジャーさんや訪問看護師をはじめ、介護事業所の方々と連携・協力しながら、患者さんが在宅で安心して療養生活を続けていただけるようサポートしています。



訪問診療車



本館2階の訪問診療部（左側の扉）

代々木病院 訪問診療部
訪問診療の体制については、6面にある「外来診療表」をご参照ください。
電話 03-3404-7684

訪問診療部
鈴木 海師長
訪問診療では、通院が困難になった患者さんのために、医師が定期的に診療にお伺いし、計画的に健康管理を行います。ケアマネジャーさんや訪問看護師をはじめ、介護事業所の方々と連携・協力しながら、患者さんが在宅で安心して療養生活を続けていただけるようサポートしています。

患者さんの状況は様々 必要に応じた医療を実施

現在、代々木病院の訪問診療には約140人の患者さんが登録されており、4人の医師が曜日毎、看護師とともに患者さんのお宅へ訪問し診療をしています。

「外に来るのが大変になってきた」という方は、主治医やケアマネジャー、または訪問診療部に直接ご相談ください。



園城さん（右）の胸に聴診器をあてる、訪問診療部責任者・宮本尚樹医師（左）



園城さん（右）に話しかけながら体調をチェックする看護師（左）

哲郎さんが代々木病院から帰ってきて歌うようになったので、ピククリされた奥様。訪問診療部のスタッフからは「いつでも電話をくださいね」と言われホッとされたそうです。



藤井治正さん（右から2人目）のご家族と話している宮本尚樹医師（左）

「取り組んでいきたいと考えています。」

訪問診療部 患者さんの療養生活をサポート
代々木病院では、病気でなくても患者さんが住み慣れた家で暮らせるように病棟や地域の事業所などと連携し、訪問診療を行っています。今回は...

すぐきける、診てもらえるのが助かる
【藤井治正さん(83歳)】
藤井さん(脳梗塞後遺症)は胃ろう交換のため訪問診療について、「電話してすぐきける。来て診ていただけると助かる」と話していました。

千駄の萱
「(木材は)植えた時は自分の利益にならないのさ。それでも40年後に生きる人の事を思って植えるんだ」。連続テレビ小説「とと姉ちゃん」(NHK)の一場面。戦争中、200年続いた深川の材木問屋を廃業に追い込まれ、療養のため木曾に旅立つ祖母が、主人公たちに語った話。しかし「今」人々は日々の生活に追われて暮らし、近い将来「生命」にかかわる問題になる「平和」や「憲法」への関心はさほど高くない。世論調査でも「年金・社会保障制度30%、経済対策29%、憲法改正13%」(テレビ朝日の報道ステーションが7月25・3日に実施)...

「平和安全法制」が強行採決された。そんな状況で、日本がアメリカも手を焼く東アジア各国との関係を、改善できるのであるか。紛争・戦争が起きて苦しむのはいつも庶民だ。1人でも「命」が失われれば取り返しがつかない。「平和な世界が残せよう」と。七夕の短冊に書いた私の願い。将来へ「命」をつなぐため、「願い」の実現のため働きたい。(た)